

I かながわパラスポーツコーディネーター養成会等の開催

1 「かながわパラスポーツコーディネーター養成会」の開催

(1) 日程・会場

回	日程	時間	場所	定員	修了者数
第1回	2017年12月16日(土)	各日 10:00 ～16:00	慶應義塾大学湘南藤沢キ ャンパス(藤沢市)	各回 30名	26名
	17日(日)				
第2回	2018年1月13日(土)	※ 受付開始 9:30	トッケイセセキュリティ平 塚総合体育館(平塚市)	30名	34名
	14日(日)				
				計	60名

(2) カリキュラム（別添のとおり）

(3) 参加者からの意見について

ア) 自律・持続可能な「かながわパラスポーツ」を考えるワークショップ

A) 第1回

【情報の発信・共有への課題】

- ・若年層(学生や生徒)に関わってもらいたいが、学校からの発信だと強制的な印象が強く、一過性の参加になって継続性が保てないと意味を持たないのではないか。
- ・「かながわパラスポーツ」を実践する際に、仲間(ボランティア含む)を集めたいがどこで情報を公開すれば良いかわからない。
- ・同じような活動をしている団体や個人が実際に活動している様子を共有できる場(オンライン及びオフライン)があると参考になる。
- ・養成会への参加が健常者に偏っているのではないか。障がい者にどの程度情報が届いているのか。活動以前の問題も含めて一緒に考える必要があるのではないか。

【活動する場(施設)の課題】

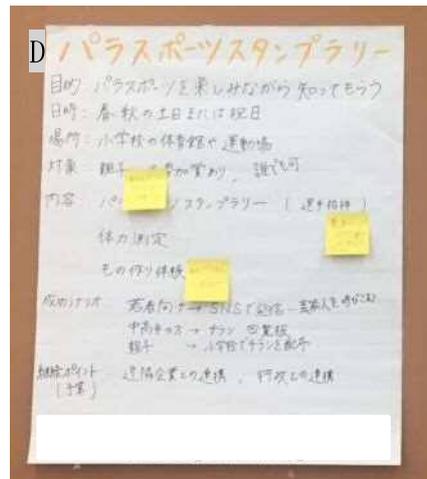
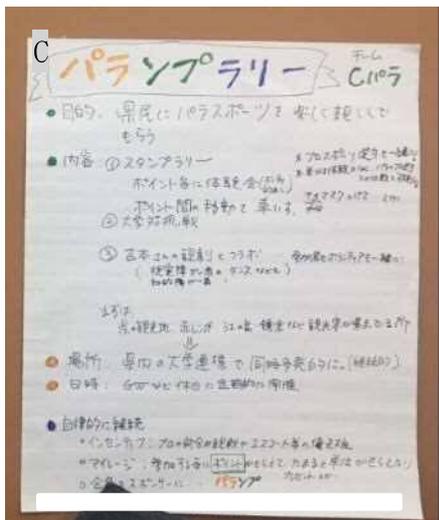
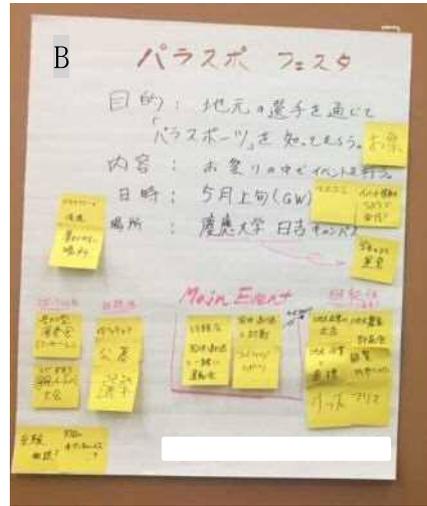
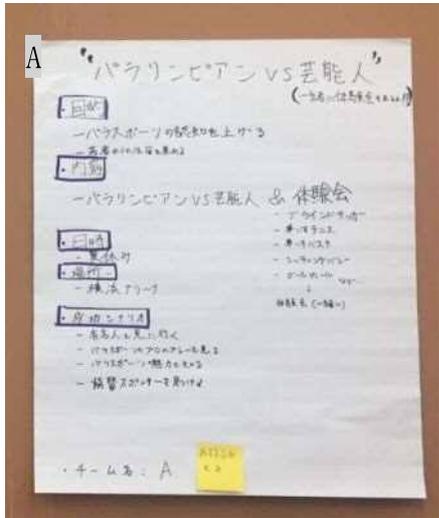
- ・レクリエーションなどのイベントを定期的に、もしくは単発的にすでに活動している場があれば、「かながわパラスポーツ」の導入はしやすいが、ゼロから作る場合は何をどこから始めれば良いのか、その体力も含め未知数なところが多いと感ずる。
- ・地域の大学や学校から協力を得たり、連携できれば様々なリソースを活用することができ、継続性も視野に入れて活動を考えることができる。

【継続性の課題】

- ・近隣の企業や行政にもメリットがあるように仕掛けを作ることができれば、継続性に繋がるのではないか。
- ・活動費の面でも地域の企業に支援してもらえたらありがたいが、具体的にどのように提案すれば良いかわからない。事例などを紹介していただきたい。
- ・硬く考えずに今できることを身近な場所で始めてみて、少しずつ広げていくことも大事だと感じた。

【ワークショップで創出されたアイデア】

- ・パラリンピアン VS 芸能人 (一緒に体験会もあるよ)・・・A
- ・地元の選手とパラスポーツフェスタ・・・B
- ・パラスポーツ×スタンプラリー (2グループ)・・・C、D
- ・県内全域鬼ごっこ・・・E



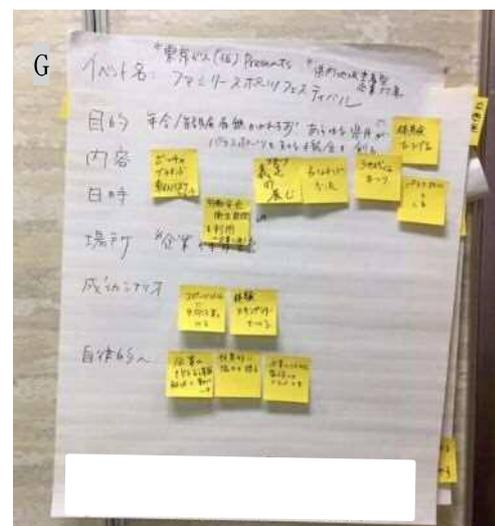
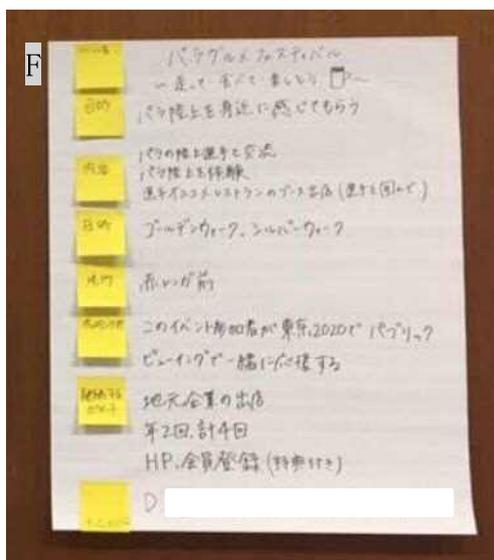
B) 第2回 (第1回と重複する意見は省略)

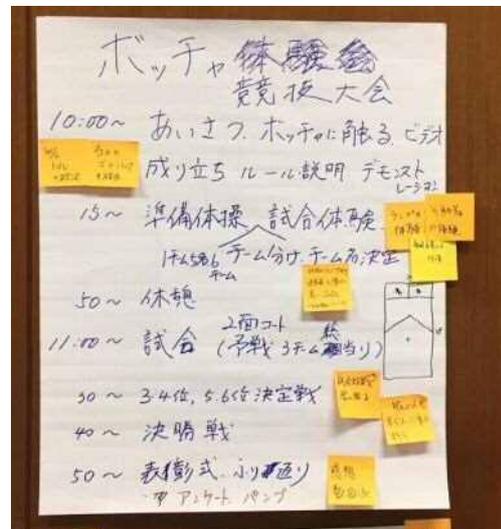
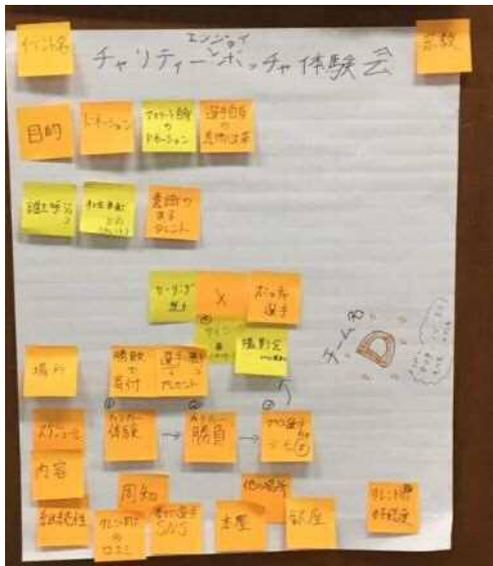
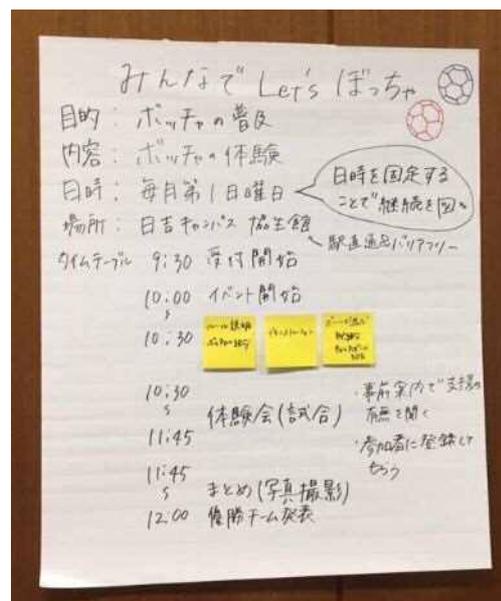
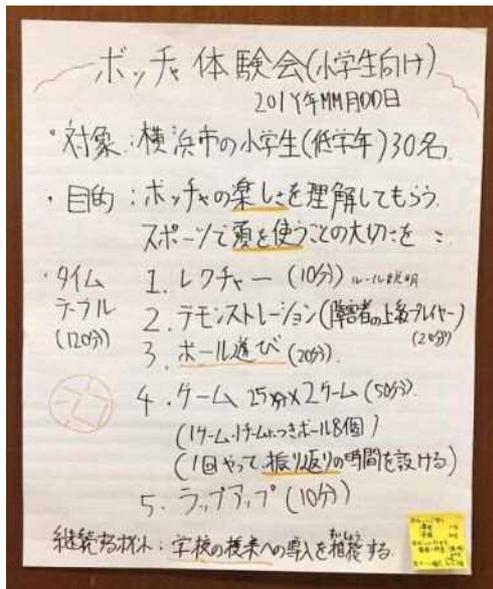
【かながわスポーツの認知及び継続について】

- ・ 「かながわパラスポーツ」を知る(認知する)機会が少ない。
- ・ 「かながわパラスポーツ」を実践する場を作るのではなく、人が集まる場や、他のイベントに併せて、「かながわパラスポーツ」を知る機会を設けてはどうか。例えば、駅前、ショッピングモールのオープンエリアやオフィスのエントランスなど、人の目に触れやすい空間を利用してポッチャ体験をすると知ってもらいやすい。
- ・ オリパラのスポンサーや、地域の企業に積極的にスポンサーをしてもらい、認知拡大を図ってはどうか。
- ・ その際、「かながわパラスポーツ」を名乗ることに制約があるのかないのか。もし横断的に神奈川県で活動を促進するのであれば、統一して活動を推進したほうが良いのではないか。
- ・ 例えば、今回のコーディネーター養成会を受講し修了者がイベントを主催する場合に、「かながわパラスポーツ推進事業の認定」のようなお墨付きがあると、活動する者としてもモチベーションになり、参加を希望する者にも認知が広がるのではないか。

【ワークショップで創出されたアイデア】

- ・ パラグルメフェスティバル . . . F
- ・ ファミリースポーツフェスティバル(地域密着型企业対象) . . . G
- ・ パラスポーツムービーDAY . . . H
- ・ パラスポーツウィーク . . . I
- ・ 運動会でパラスポーツ . . . J
- ・ 地区対抗ウォークラリー . . . K





(4) 養成会の写真
ア) 第1回



↑ 開会の挨拶 (慶應大学 永野氏)



↑ 主催者の挨拶（神奈川県スポーツ局）



↑ 講義：障がいの理解・パラスポーツの理解（笹川スポーツ財団 渋谷氏）



↑ 講演（日本ブラインドサッカー協会 小島氏）



↑ ブラインド状態でコミュニケーションスキルの体験



↑ 体育館でのウォーミングアップ(慶應大学 東海林氏)



↑ ブラインドサッカー体験の様子 (講師: ブラインドサッカー女子日本代表 斎藤氏)



↑ ブラインドサッカー体験の様子



↑ 講師からのフィードバックを受ける受講者の様子



↑ 講師との質疑応答の様子



↑ ブラインドサッカー体験の参加者



↑ 講義: ボランティア論 (慶應大学 東海林氏)



↑ 講義(ボランティア論)の様子



↑ 自律・持続可能な「かながわパラスポーツ」を考えるワークショップ（慶應大学 中島氏）



↑ ワークショップの様子（ブレインストーミング）



↑ ワークショップの様子（ワールドカフェ形式）



↑ ワークショップの様子（各グループの成果をプレゼン）



↑ 講義：コーディネートに必要な実践的な知識（慶應大学 神武氏）



↑ 対話(かながわパラスポーツの実践に向けて)の様子



↑ 第1回養成回修了者のみなさま

イ) 第2回



↑ 主催者の挨拶（神奈川県スポーツ局）



↑ 講義：かながわパラスポーツ概論（慶應大学 永野氏）



↑ 講義：ボランティア論（慶應大学 永野氏）



↑ 講義：障がいの理解・パラスポーツの理解（笹川スポーツ財団 渋谷氏）



↑ 講義：コーディネートに必要な実践的な知識（慶應大学 神武氏）



↑ 対話(かながわパラスポーツの実践に向けて)の様子



↑ 対話(かながわパラスポーツの実践に向けて)の様子



↑ 自律・持続可能な「かながわパラスポーツ」を考えるワークショップ（慶應大学 中島氏）



↑ ワークショップの様子（ブレインストーミング）



↑ ワークショップの様子（ワールドカフェ形式）



↑ 講演(日本車いすスポーツ協会 坂口氏)の様子



↑ 講演(日本車いすスポーツ協会 坂口氏)の中でのグループワークの様子



↑ スポーツ車いす体験の様子 (講師: 日本車いすスポーツ協会 坂口氏)



↑ 車いすテニス体験の様子(講師: 日本車いすスポーツ協会 坂口氏)



↑ 車いすテニス体験の様子(講師:日本車いすスポーツ協会 坂口氏)



↑ 車いすテニス体験の参加者



↑ ワークショップの様子 (各グループの成果をプレゼン)



↑ ワークショップの様子（各グループの成果をプレゼン）

2 「かながわパラスポーツ」体験会の開催（実践の場）

(1) 日程・会場

名称	日程	時間	場所	定員	修了者数
体験会	2018年1月21日(日)	10:00 ～12:00	慶應義塾大学日吉キャンパス (横浜市)	なし	17名

(2) カリキュラム（別添のとおり）

(3) 参加者からの意見について

ア) 「かながわパラスポーツ」体験会の立案からトライアルまで

【実践したことで得られた気づき】

- ・ これまでに触れたことのないパラスポーツをまずは自分たちで体験してみることで、その楽しさや、参加者の立場を理解することでできた。
- ・ 既存のルールに工夫を加えることで、多様な方が楽しむことができる場を提供できると実感できた。
- ・ 次のステップとして障がい者の方も交えた体験会の企画もあると良い。
- ・ 今回は、ある程度、決められた場所での開催であったが、そもそもは場所をどう確保するのか、どこで実施するのかも立案に含めて、実際に企画し実践する必要がある。
- ・ このようなコーディネーターが集って講師を招いたりして学ぶ機会を作って欲しい。

【今後の活動に役に立つ施策について】

- ・ 実践できる「場所(施設など)」を提供してもらいたい。場所があれば積極的に活動したいし、活動しやすい。
- ・ 活動をする個々の団体や個人が別々に情報を発信するのではなく、イベントの情報や活動の様子を共有できるウェブサイト(または事務局のようなもの)があると良い。

- ・活動する際に、ボランティアの募集や、障がい者の参加を促す仕組みがあると、活動の幅を広げることができる。
- ・地域や学校の既存のイベントに関する情報、準備を始める時期や、その主体となる組織へのアプローチをするための情報があると助かる。
- ・例えば、昨年度の「かながわパラスポーツコーディネーター養成会」を修了し、すでに実践している方を紹介してもらえると、自らが実践する際にそのプロセスをイメージしやすい。

(4) 体験会の写真



↑ 体験会の流れを説明する様子（慶應大学 永野氏）



↑ 指定されたグループでボッチャ体験会のプログラムを作成する様子



↑ 指定されたグループでボッチャ体験会のプログラムを作成する様子



↑ 指定されたグループでボッチャ体験会のプログラムを作成する様子



↑ 指定されたグループでボッチャ体験会のプログラムを作成する様子



↑ 各グループの考案したボッチャ体験会プログラムをデモンストレーションする様子



↑ 各グループの考案したボッチャ体験会プログラムをデモンストレーションする様子



↑ 各グループがデモンストレーションした体験会プログラムについて講評している様子



↑ 各グループがデモンストレーションした体験会プログラムについて講評している様子



↑ 体験会に参加したみなさま

Ⅱ 「かながわパラスポーツ」の活動拠点モデル事業の実施

1 概要

事業名		平成 29 年度「かながわパラスポーツ」地域モデル事業				
会場		平塚市立みずほ小学校（平塚市北金目 2-39-1）				
回	開催日時 ・毎月第 2 土曜 ・いずれも 13:00～16:00	障害者スポーツ等の種目・内容	参加者 数 ()内:障 害者※	コーディネー ター	広報	備考
						一般開放種目
1	6 月 10 日(土)	ボッチャ、ブラインドサッカー	13(0)	2	市 HP	卓球、バドミントン
2	7 月 8 日(土)	卓球（車いす卓球・土井健太郎選手（東海大学 4 年次生）を講師に迎えて）、ボッチャ	12(0)	1	市 HP チラシ	なし
3	8 月 12 日(土)	フライングディスク・アキュラシー、シッティングバレー、ボッチャ	21(0)	1	市 HP チラシ	卓球、バドミントン
4	9 月 9 日(土)	デフリンピック・メダリスト(水泳・茨隆太郎選手(東海大学大学院体育学研究科 2 年次生))講演会・交流会、ボッチャ	18(0)	2	市 HP チラシ	卓球、バドミントン
5	10 月 14 日(土)	アンプティサッカー、ボッチャ	18(0)	2	市 HP チラシ	卓球、バドミントン
6	11 月 11 日(土)	ゴールボール、ボッチャ	14(0)	2	市 HP チラシ	卓球、バドミントン
7	12 月 9 日(土)	ボッチャ、チュックボール	33(19)	1	市 HP チラシ	卓球、バドミントン
8	1 月 13 日(土)	車いすバスケットボール、ボッチャ	10(0)	2	市 HP チラシ	卓球
9	2 月 10 日(土)	ボッチャ大会	15(1)	2	市 HP チラシ	卓球

※ 障害の有・無については、聞き取りをしていないため、障害福祉施設入居者もしくは、車いす利用者等で把握したもの。

【参考：委託先から出た課題等】

課題や改善すべき点	<p>(第 3 回) 小・中学生にもっとパラスポーツに興味をもたせたい。</p> <p>(第 5 回) 体験会は良かったが、人が集まらなかった。集客力を上げるため、約 2 ヶ月前からのチラシの配布を徹底したい。実際のボールを利用した体験会ができなかった。</p> <p>(第 7 回) 障害者施設の方が 21 名来てくださり、盛り上がった。ボッチャを楽しんでくれた。団体へのアナウンスも今後できるといい。</p> <p>(第 8 回) 今年の 2 月にも実施したが、その時に比べて人が集まらなかった。年末年始であり、十分な広報ができなかったと思われる。</p>
その他	<p>(第 9 回) 一般開放を目的できていた人達を巻き込んでボッチャ大会ができた。広報が十分ではなかったかもしれないが、初めてボッチャを体験する人がほとんどで、良い体験会であった。</p>

2 障害者スポーツ体験の様子

(1) 第1回ボッチャ体験会



ルールを説明しているところ



パラスポーツに関する資料を展示

(2) 第2回車いす卓球・ボッチャ体験会



東海大学4年次生

土井健太郎選手（日本代表）に相手をしてもらって、車いす卓球を体験



土井選手と一緒にボッチャ体験



土井選手から世界大会などの経験を話してもらった

(3) 第3回シッティングバレー・フライングディスクアキュラシー体験



シッティングバレーの説明を聞いているところ



アキュラシー（赤いサークルの中にフライングディスクを入れる）に挑戦



(4) 第4回デフリンピック・メダリスト講演会



東海大学大学院2年次生・茨隆太郎選手
（デフリンピアンで、第23回夏季デフリンピック競技大会、水泳で6個のメダル獲得）
による講演会



耳をふさいで卓球に挑戦
*耳にヘッドフォンをして音を遮断



茨選手と一緒にボッチャも楽しんだ
子供たちとコミュニケーション

(5) 第5回アンプティサッカー体験会



TS AFC (アンプティサッカーチーム) に来ていた
だいて指導いただいた



アンプティサッカーに必須の用具であるクラッ
チの準備



最後にはゲーム形式でアンプティサッカーを体
験する

(6) 第6回ゴールボール体験



まずはゴーグルをつけて見えない世界を体験する



ゴールボールに挑戦



(7) 第7回ボッチャ、チュックボール体験



障害者施設の方々が参加してくれた
ボッチャのやり方を聞いている



グループに分かれてゲームを開始



チュックボールのやり方を聞いている

(8) 第8回車いすバスケットボール体験会



YOKOHAMA DREAMER (車いすバスケットボール) にご指導いただいた



ゲーム形式でチャレンジした



YOKOHAMA DREAMER (車いすバスケットボール) の選手もボッチャを体験

(9) 第9回ボッチャ大会

ボッチャ大会はいろいろな方に参加していただき、実施することができた。



Ⅲ 「かながわパラスポーツコーディネーターガイドブック」の増刷

- 1 作成部数 250 部
- 2 内容 別添のとおり

Ⅳ 「かながわパラスポーツ推進宣言」チラシの増刷

- 1 作成部数 10,000 部
- 2 内容 別添のとおり

第1回養成会カリキュラム

日時: 平成29年12月16日(土)・17日(日)

会場: 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス

DAY1 (12/16)	内容	形式	講師	場所
9:30	受付開始			
10:00-10:05	主催者挨拶	講座	神奈川県	教室 τ 12
10:05-10:15	「かながわパラスポーツ」概論	講座	永野智久	教室 τ 12
10:15-11:30	障がい者スポーツの特性(障がいの理解、パラスポーツの理解)	講座	笹川スポーツ財団(澁谷茂樹)	教室 τ 12
11:30-12:30	講演: 日本ブラインドサッカー協会	講演	ブラサカ(小島雄登)	教室 τ 12
12:30-13:30	昼休み			
13:30-14:30	実技1: ブラインドサッカー体験	実技	ブラサカ(小島雄登/斎藤舞香)	体育館
14:30-16:00	実技2: ブラインドサッカー体験	実技	ブラサカ(小島雄登/斎藤舞香)	体育館
16:00	終了			

DAY2 (12/17)	内容	形式	講師	場所
9:30	受付開始			
10:00-11:00	ボランティア論	講座+演習	東海林祐子	教室 τ 12
11:00-12:00	自律・持続可能な「かながわパラスポーツ」を考えるワークショップ (1)	講座+演習	中島円	教室 τ 12
12:00-13:00	昼休み			
13:00-14:15	自律・持続可能な「かながわパラスポーツ」を考えるワークショップ (2)	講座+演習	中島円	教室 τ 12
14:15-15:30	コーディネートに必要な実践的な知識	講座+演習	神武直彦	教室 τ 12
15:30-16:00	振り返り(アンケート含む) + 質疑応答	講座+対話	神武直彦	教室 τ 12
16:00	終了			

第2回養成会カリキュラム

日時: 平成30年1月13日(土)・14日(日)

会場: トッケイセキュリティ平塚総合体育館

DAY1 (1/13)	内容	形式	講師	場所
9:30	受付開始			
10:00-10:05	主催者挨拶	講座	神奈川県	会議室
10:05-10:15	「かながわパラスポーツ」概論	講座	永野智久	会議室
10:15-11:30	障がい者スポーツの特性(障がいの理解、パラスポーツの理解)	講座	笹川スポーツ財団(澁谷茂樹)	会議室
11:30-12:30	ボランティア論	講座+演習	永野智久	会議室
12:30-13:30	昼休み			
13:30-15:00	コーディネートに必要な実践的な知識	講座+対話	神武直彦	会議室
15:00-16:00	自律・持続可能な「かながわパラスポーツ」を考えるワークショップ (1)	講座+演習	中島円	会議室
16:00終了				

DAY2 (1/14)	内容	形式	講師	場所
9:30	受付開始			
10:00-11:30	講演: 日本車いすスポーツ協会	講演+演習	日本車いすスポーツ協会	会議室
11:30-12:00	実技1: スポーツ車いす体験	実技	(坂口剛)	第2体育室
12:00-13:00	昼休み			
13:00-14:30	実技2: 車いすスポーツ体験 (車いすテニス)	実技	日本車いすスポーツ協会(坂口剛)	第2体育室
14:30-15:30	自律・持続可能な「かながわパラスポーツ」を考えるワークショップ (2)	講座+演習	中島円	会議室
15:30-16:00	振り返り(アンケート含む) + 質疑応答	講座	神武直彦	会議室
16:00終了				

体験会カリキュラム 日時: 平成30年1月21日(日)

会場: 慶應義塾大学日吉キャンパス協生館

時間	内容	講師	場所
9:30	受付開始		エクササイズスタジオ
10:00-10:05	主催者挨拶・本日の流れ説明	神奈川県+永野智久	
10:05-10:15	ボッチャルール確認	永野智久	
10:15-10:45	ボッチャ体験会企画(グループA~D)		
10:45-11:15	グループA・グループCのデモンストレーションおよび講評		
11:15-11:45	グループB・グループDのデモンストレーションおよび講評		
11:45-12:00	振り返り(アンケート含む)	神武直彦	
12:00終了			